生涯教育部生涯学習課　　行 政 経 営 計 画 書 （ 総 括 表 ）

■事務事業の総括

予算科目　款-項-目（事業）	事務事業名
10-5-1-(3)	家庭教育推進事業
10-5-1-(4)	生涯学習活動推進事業
10-5-1-(5)	生涯学習講座事業
10-5-2-(3)	中央公民館管理事業
10-5-2-(4)	町民会館管理事業
10-6-1-(3)	社会体育振興事業
10-6-2-(3)	温水プール管理事業
10-6-2-(4)	グラウンド等管理事業
10-6-2-(5)	野外活動施設管理事業
10-5-4-(3)	文化財保護事業
10-5-4-(4)	歴史民俗資料館運営事業
－	歴史文化教育事業

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-1-(3)
事業名	家庭教育推進事業		

■基礎情報

目的	将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。	
事務内容	・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。	・青少年問題協議会 ※会議（年１回） 啓発活動（年1回）
現在における経過又は課題	昨今の社会構造の変化に伴う子育て家庭の孤立等の要因により、家庭内での問題が取り上げられている。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。 今後の課題点として、父親と子どもが参加できる事業を昨年度に引き続き検討が必要と考えている。 また、青少年を取り巻く状況については、青少年問題協議会を年１回開催し、町内ショッピングセンター店舗にて啓発活動を実施している。	
令和６年度の目標又は改善策	親子講座や親子がふれあいながら、ともに学習できる機会の提供など充実を図る。 教室に参加した方にアンケートを実施しながら、新たなニーズをつかんでいく。 事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にする。 令和５年度において、日間賀島自然体験教室が観光協会との地引網体験ができなかったため実施を見送った。観光協会と連携を図りながら、事業の実施を図っていきたいと考える。 また、子どもたちに町内企業を知ってもらい興味を持つことができるきっかけづくりを考えていきたい。	

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第１章	次代を担う子ども・若者の育成					
	基本政策	第３節	青少年の育成					
成果指標	家庭教育指導など青少年の健全育成への満足度							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	63.60%	65.10%	66.00%	-	-	-	-	70.00%

成果指標	学校と地域や家庭との連携の満足度							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	62.40%	65.60%	65.00%	-	-	-	-	68.00%

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	中高生等の居場所づくりの推進・啓発、青少年の社会活動への参加機会の創出を行う
Ｒ８年度	中高生等の居場所づくりの推進・啓発、青少年の社会活動への参加機会の創出を行う

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
7	青少年問題協議会の開催
	日間賀島自然体験教室（日間賀島）
8	山村自然体験教室（阿智村）
11	親子ふれあい事業
12	ヤマザキマザック博物館
随時	家庭教育講座の受付及び開講

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-1-(4)
事業名	生涯学習活動推進事業		

■基礎情報

目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。	
事務内容	・文化振興（芸能文化事業） ・地域学校協働本部事業	・文化協会支援 ・二十歳の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・少年少女発明クラブ支援
現在における経過又は課題	生涯学習活動については、大口町生涯学習基本構想に基づき、住民一人ひとりが生涯学習に取り組む機会が得られるよう、様々な事業を展開している。 文化協会及び各種団体については、コロナ禍で活動が縮小傾向となっているため、活動ができるように支援していく。 地域学校協働本部事業については、安定した運営を引き続き継続していけるよう、体制を維持していくことが必要である。	
令和６年度の目標又は改善策	開かれた学校づくりの一環として、地域住民が学校支援ボランティアとして協力ができるよう、地域学校協働本部は学校が困っていることを把握し、その問題に対応できる学校支援ボランティアを派遣できるように体制を整えていく。また、ボランティアから「こんな支援ができる」などの提案を聞きながら学校活動を支えていく。 文化協会及び各種団体については、令和5年度中に脱退する団体あったため、生涯学習講座と連携し、団体の魅力を引き出しながら、各団体の会員が増えるように進めていく。 少年少女発明クラブについては、子どもたちが理科に興味を持ち続けることができるように、引き続き体制の支援を図っていく。	

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する					
	基本政策	第１節	生涯学習の推進					
成果指標	学校支援地域本部事業ボランティア登録数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	97人	79人	86人	80人	79人	100人	100人	100人

成果指標								
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	第８次総合計画（生涯学習活動推進事業）の見直し
Ｒ８年度	生涯学習基本構想の見直し

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4	大口町文化協会補助金交付決定　事業の展開支援（４月～３月）
	生涯学習のまちづくり事業委託契約
	発明クラブなどと協働委託契約を締結
6	芸能文化事業の展開（６月～２月）
	・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス＆ミュージック
7	二十歳の集いの実行委員会立ち上げ　事業の展開（８月～１月）
1	二十歳の集い開催
随	リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（４月～３月）

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-1-(5)
事業名	生涯学習講座事業		

■基礎情報

目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。	
事務内容	・定期講座 　※主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に随時１講座６回程度開催する。	・旬の講座 　※その季節にあわせて１講座１回から３回程度開催する。 ・高齢者教室（さくら大学）
現在における経過又は課題	コロナ前は前期・後期に分けて様々な講座を企画している中で、講座による参加者の数にばらつきが発生していた。しかしながら、行政における講座の役割としてはきっかけづくりが主なものであるため、参加者数にとらわれない様々な講座の紹介としての役割を担えればと考えている。	
令和６年度の目標又は改善策	講座内容について、企画する上で、旬な講座も取り入れながら実践に役立つ講座や地域の住民が講師となり活躍できる講座の開設を中心に、参加人数にとらわれず、様々な方面から情報を模索し、きっかけづくりとなる講座を考える。 　また、さくら大学については、憩いの四季と連携しながら、講習会を実施していく。 　松江市提携講座については、例年来待石彫刻体験講座を実施しているが、ほかの松江市で行っている講座などを視野に入れながら、講座内容を検討する。	

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する					
	基本政策	第１節	生涯学習の推進					
成果指標	生涯学習講座のメニューの数の満足度							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	59.50%	63.30%	-	-	-	-	-	65.00%

成果指標								
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	住民ニーズに応じた生涯学習講座の開設及び講座から派生した地域活動などの支援を行う。
Ｒ８年度	住民ニーズに応じた生涯学習講座の開設及び講座から派生した地域活動などの支援を行う。

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
毎月	さくら大学
12月	松江市提携講座
随時	生涯学習講座を受付及び受講を開始

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-2-(3)
事業名	中央公民館管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。
事務内容	・施設の利用者対応 ・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認
現在における経過又は課題	施設内の老朽箇所が散見されるため、随時対応していく。特に配管設備や電気設備について、急な不具合が発生する事案が度々あり、その都度修繕対応が必要である。 また、周辺の樹木の剪定・伐採など、外観美化に努めていく。
令和６年度の目標又は改善策	随時発生する不具合において、その都度迅速に対応していく。また、光熱水費について、経済的な面、環境的な面から節制を心掛けていく。調理室のガスコンロが古くて点火しないものがあるためため、ガスコンロ機器の入れ替えを検討する。 工事において、令和５年中に生涯学習課事務所の空調が壊れたため、補正対応で取替工事を行った。同時期に更新した教育長室及び学校教育課事務室の空調があるためを取替工事を実施する。文化祭でC会議室において絵の展示をしているが、パネル設置は危ないため、中央公民館のピクチャーレール取付工事を行う。ネット環境を充実させるため２階及び３階の学習スペース、図書館の受付及び一般図書室にWiFiを増設する。

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	第１節	生涯学習の推進

成果指標							
H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値

■３年間の目標

目標	施設の突発的な不具合に際し、優先度を考慮しながら迅速に対応する。

項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R７年度	施設の効率的な運用のため修繕を行う。光熱水費の節減を図る。
R８年度	施設の効率的な運用のため修繕を行う。光熱水費の節減を図る。

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結
	随時、履行確認をしていく。
6	ガスコンロの購入
9	ピッチャーレール取付工事
	WiFiネットワーク増設工事
11	２階空調機取替工事
	＊突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-2-(4)
事業名	町民会館管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。	
事務内容	・支払処理 ・消耗品等の補充 ・除草等清掃作業	
現在における経過又は課題	開館からすでに３０年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、屋根の雨漏り箇所や天井材に不具合が確認されていることから、平成３０年度に大規模改修工事を行った。 令和２年度には２階ホールの舞台吊り物装置の一部を改修し、経年劣化による危険性に対して万全を期した。 調光盤やケーブルなどの舞台照明機器については、耐用年数の経過や経年劣化により機器更新の必要がある。 町民会館駐車場について、経年劣化により舗装面が傷んでいるため、改修工事の必要がある。	
令和６年度の目標又は改善策	施設の効果的な運用を図るとともに、修理箇所が発生した場合はその都度対応するなどして、適切な維持管理を実施していく。 自家発電が当初から利用しているため部品がなくなりつつある。経年劣化している箇所を中心に機器を継続して利用できるよう修繕を行っていく。 高齢者の方が発表することができる場でもあることから、入り口付近や階段を中心に手摺を付け、高齢者の方にも利用しやすくするため工事を行う。	

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本政策	第１節	生涯学習の推進

成果指標							
H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値

■３年間の目標

目標	施設の突発的な不具合に際し、優先度を考慮しながら迅速に対応する。

項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R７年度	スポット照明などのLED化ため調光盤の入れ替え
R８年度	施設の効率的な運用の検証を行う

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
9	手摺取付工事
	＊突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-6-1-(3)
事業名	社会体育振興事業		

■基礎情報

目的	町民が暮らしの中に「スポーツ」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。	
事務内容	・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・愛知駅伝記録会 ・丹羽高等学校体育施設開放運営委員会	・地区別ソフトボール大会 ・町民体育祭 ・桜並木健康ジョギング ・スポーツ協会支援 ・スポーツ少年団支援
現在における経過又は課題	若い世代から高齢者まで、生涯にわたって健康・体力づくりに取り組めるよう、多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていく。 子ども向けのスポーツ事業については、統合型地域スポーツクラブであるＮＰＯ法人ウィル大口スポーツクラブと役割確認しながら、引き続き事業を継続していく。 イベントについては、継続していくため、その時々にあった内容を取り入れながら実施していく。 団体支援については、団体のみが参加する活動だけではなく、地域の人たちも参加できる形での地域貢献の場を設けていく必要がある。	
令和６年度の目標又は改善策	普段仕事や子育て等でなかなかスポーツにふれあう機会の少ない世代に対し、生涯スポーツのきっかけとなるようなアプローチを実施していく。 ニュースポーツ教室において、例年タグラクビー教室を行っていたが、令和5年度モルック体験教室を企画し、実施した。幼児から高齢者までできる教室であるため事業の継続を図る。 町民体育祭は令和5年度半日開催を計画したが、雨天のため中止なった。今年度についても各区長や実行委員の意見を聞きながら、半日開催ができないか検討する。 地区別ソフトボールについては、令和5年度女子チームの参加が１チームしかなったため、参加方法を見直しながら検討する必要がある。 スポーツ協会及びスポーツ少年団については、自立した運営が図れるよう引き続き支援を行っていく。	

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する					
	基本政策	第１節	生涯学習の推進					
成果指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	58.6%	54.6%	60.0%	-	-	-	-	70.0%

成果指標	36.00%	96. 0%	71.40%	93.30%	85.00%	90.00%	95.00%	100.00%
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	36.0%	96. 0%	71.4%	93.3%	85.0%	90.0%	95.0%	100.0%

成果指標	スポーツ少年団指導者有資格者（指導者に対する割合）							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	36.0%	96. 0%	71.4%	93.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

成果指標	スポーツ施設利用者数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	500,360人	544,289人	473,726人	513,241人	563,920人	565,000人	565,000人	570,000人

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	体を動かすきっかけづくりとなる生涯スポーツの啓発をする。スポーツを通じた交流・ネットワークの充実を図る
Ｒ８年度	体を動かすきっかけづくりとなる生涯スポーツの啓発をする。スポーツを通じた交流・ネットワークの充実を図る

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4	各団体補助金交付決定　事業の展開支援（４月～３月）
	4月区長会
5	町民体育祭実行委員会
	愛知駅伝記録会（5月、6月、7月、9月）
6	6月区長会
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
12	愛知駅伝参加
2	桜並木健康ジョギング受付
3	桜並木健康ジョギング開催
	・スポーツ推進委員定例会は毎月１回開催

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-6-2-(3)
事業名	温水プール管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。
事務内容	・指定管理業者による施設の確認 ・指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。
現在における経過又は課題	施設の管理運営は平成２２年度から指定管理者に委ねられており、引き続き令和２年度から令和６年度まで５年間の指定管理協定をウィル大口スポーツクラブと締結している。 施設自体は、開場からすでに40年以上が経過しており、随時修繕等を実施していく必要がある。 令和３年８月にオークマ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、大口町総合運動場は「オークマ温水プール」と命名された。契約期間は令和３年１０月１日から令和８年９月３０日の５年間である。
令和６年度の目標又は改善策	施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、施設の適正な運営が行われているかの指導・助言を実施していく。また、指定管理者との連携を密にするため、定期的な連絡会議を引き続き実施していく。また協議のうえ、施設な改修が必要な個所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。 令和６年度は指定管理者との契約５年目となるため、次期５年間の指定管理について検討していく必要がある。 プール施設が開場から40年以上経過していため、設備や躯体などの調査を行い、その結果を踏まえて、今後の方針を検討していく。 備品購入については、コースロープが経年劣化しているため、新たに購入をする。

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する					
	基本政策	第１節	生涯学習の推進					
成果指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	58.60%	54.60%	60.00%	-	-	-	-	70.00%

成果指標								
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	温水プール施設調査に伴う方針に基づき計画を実施
Ｒ８年度	温水プール施設調査に伴う方針に基づき計画を実施

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4	指定管理年度協定締結
7	温水プール施設調査実施 コースロープ購入 年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の報告を受けて、課題に取り組んでいく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-6-2-(4)
事業名	グラウンド等管理事業		

■基礎情報

目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。
事務内容	・指定管理委託した施設の町負担分支払
現在における経過又は課題	平成２７年度からすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行したため、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたっている。 令和２年度には、夜間のスポーツ施設の利用を可能にするため、わかしゃち国体記念運動公園に照明設備を設置した。また、総合グラウンドのゲートボール場１面を駐車場に改修し、周辺施設利用の際の駐車台数確保に努めた。 引き続き、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。 令和３年８月にオークマ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、大口町総合運動場は「オークマグラウンド」と命名された。契約期間は令和３年１０月１日から令和８年９月３０日の５年間である。
令和６年度の目標又は改善策	管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導・助言をしていく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。 施設の利用については、利用者が利用しやすいように、利用の仕方を指定管理者と協議しながら考えていく必要がある。 令和6年度はオークマグラウンド管理棟に漏水が見られるため、防水対策を講じる。

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する					
	基本政策	第１節	生涯学習の推進					
成果指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	58.60%	54.60%	60.00%	-	-	-	-	70.00%

成果指標								
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	スポーツ施設全般の機能充実を図る
Ｒ８年度	スポーツ施設全般の機能充実を図る

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4	指定管理者制度導入施設の年度協定締結
8	管理棟防水改修工事
	年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の運営を見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-6-2-(5)
事業名	野外活動施設管理事業		

■基礎情報

目的	町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。	
事務内容	・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認	・支払処理 ・消耗品等の補充
現在における経過又は課題	地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。 開場からすでに３０年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。アスレチック施設については経年劣化が目立ってきており、毎年の遊具点検により使用の可否を見極めながら、また、遊具新設についても検討しながら施設運用を図っていく必要がある。	
令和６年度の目標又は改善策	施設の老朽化にしているため、修繕などで対応していくか、点検で撤去推奨判定の遊具については、撤去などの措置を行っていく。 日常管理を委託している地元の有志団体構成員の高齢化しているため、継続して管理ができるようサポートしながら実施していく。 今後の施設のあり方については、引き続き方向性を検討していく。施設の利用については、利用者が怪我なく利用しやすい運営に努める。	

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する					
	基本政策	第１節	生涯学習の推進					
成果指標	スポーツ活動、教室のメニューや数の満足度							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	58.60%	54.60%	60.00%	-	-	-	-	70.00%

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	施設の遊具の適切な管理・運用を図る
Ｒ８年度	施設の遊具の適切な管理・運用を図る

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。 ＊突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-4-(3)
事業名	文化財保護事業		

■基礎情報

目的	郷土に遺る貴重な文化遺産の保存及び活用に努め、次世代へ継承する。	
事務内容	・指定文化財の保存と活用 ・新規に指定可能な文化財の調査 ・町の歴史に係る調査及び研究	・埋蔵文化財の保護と開発に係る調査 ・伝統芸能の普及と継承
現在における経過又は課題	町内に遺る指定文化財及び未指定でも近年急速に失われつつある、郷土の歴史を物語る上で貴重な文化遺産について調査を行い、それらを保存及び活用することにより、町民に対して保護意識の醸成を図る。 各地区に伝わる伝統芸能について、近年継続が困難になりつつあり、その傾向はコロナ禍によってさらに拍車がかかってしまった。このため、伝統芸能を次世代へ継承し、発表の場を創出しなければならない。	
令和６年度の目標又は改善策	指定・未指定に関わらず、町内に遺る多種多様な文化遺産について、専門家や地域住民の協力を得ながら調査を進め、その成果を町民に還元する。 毎年4月及び10月に開催する伝統芸能発表会と、大口北小学校で実施している、各地区保存会と児童の交流会を開催する。特に秋の伝統芸能発表会は、令和5年度に新しい会場（多世代が集う憩い広場）で初めて開催した結果、利点・課題等が浮き彫りとなった。今年度は利点を活かしつつ、課題をできる限り改善して実施する。	

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する					
	基本政策	第１節	生涯学習の推進					
成果指標	所蔵資料点数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	12,387点	12,898点	13,471点	13,838点	14,159点	14,333点	13,600点	13,800点

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	令和6年度に開催した秋の伝統芸能発表会及びそれに付随したイベントの利点・反省点を活かし、イベント全体の精度を上げる。
Ｒ８年度	伝統芸能発表会とともに、地域のイベントとして内容を充実させる。

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
	●文化遺産の調査及び普及啓発活動 調査は専門家や地域住民の協力を得ながら通年で実施。地元の文化遺産に関する認知度を高めるため、普及啓発活動を随時開催。 ●伝統芸能保存及び継承
4	金助桜まつりでの伝統芸能披露
6	伝統芸能保存会会議において、各地区の現状等を把握し、今後の継続的な活動について検討。
10	多世代が集う憩い広場での伝統芸能発表会の開催 大口北小学校との交流会

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	10-5-4-(4)
事業名	歴史民俗資料館運営事業		

■基礎情報

目的	先人の培ってきた過去のあゆみを現在に伝えるため、郷土「おおぐち」に関する事柄や美術分野等の展示を行い、町民の知的欲求に応える。また、小中学校の見学受入れや資料貸出等により、学校教育に寄与する。	
事務内容	・年4回の企画展開催 ・資料館内の管理及び運営 ・展示解説及び展示物に係る調査研究 ・文化財収蔵庫の管理	・収蔵品の管理及び活用 ・小中学校等の見学受入れ ・博物館実習生の受入れ ・年報及び展示図録等の発行
現在における経過又は課題	年4回開催している企画展のうち、家族連れを対象とした毎年恒例の春の企画展「端午の節句」及び冬の企画展「ひなまつり」は、令和5年度は入館者が安心・安全に利用できる方法で開催した。夏・秋の企画展も含め、引き続き安心・安全を確保しつつ、より親しみやすい企画展を開催し、資料館に足を運んでいただく方法を検討しなければならない。 文化財収蔵庫内の資料及び施設自体の活用を推進する。収蔵品については、小中学校及び高齢者施設等が積極的に利用できるように努める。	
令和６年度の目標又は改善策	春及び冬の企画展は、安心・安全を確保した上で、より多くの入館者に足を運んでもらえるよう開催する。また、夏及び秋の企画展は、夏休み中の小中学生を対象とした内容や、町内の歴史に関するテーマを中心に開催する。 文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は、年1回の施設開放及び月1回の「オレンジカフェ・大口」への資料貸与を実施し、教育及び福祉関係機関と連携を進める。	

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する					
	基本政策	第１節	生涯学習の推進					
成果指標	所蔵資料点数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	12,387点	12,898点	13,471点	13,838点	14,159点	14,333点	13,600点	13,800点

成果指標	入館者数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	15,167人	9,528人	776人	1,506人	5,365人	7,470人	19,000人	20,000人

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	コロナ禍前の状況と同水準のイベントを開催。
Ｒ８年度	コロナ禍直前の入館者数（概ね10,000人）に戻す。

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
4	春の企画展開催（6月上旬まで）
7	夏の企画展開催（9月上旬まで）
9	中学生職場体験受入れ
10	秋の企画展開催（12月中旬まで）
11	ふれあいまつりでの文化財収蔵庫開放（計２日間）
1	冬の企画展開催（3月中旬まで）
	毎月、大口町社会福祉協議会が開催する「オレンジカフェ・大口」に収蔵品貸出
	小中学校、高齢者施設及び町内各種団体に対し、文化財収蔵庫の団体見学受入れ及び収蔵品貸出

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価

令和６年度　事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部生涯学習課	予算科目	－
事業名	歴史文化教育事業		

■基礎情報

目的	郷土「おおぐち」の歴史及び文化を、様々な団体と連携しながら次世代へ継承することにより、町民が郷土を愛し、町の魅力として誇りを持てるまちづくりを推進する。	
事務内容	・保育園との連携事業 ・小中学校における郷土学習	・地域自治組織との連携事業 ・町内各種団体との連携事業
現在における経過又は課題	町内各種団体からの依頼で講演及び現地解説を実施すると、地域（家庭）において郷土の歴史及び文化を次世代へ語り継ぐことが断絶している状況が窺える。 この課題を解決するため、様々な団体と連携し、老若男女問わず郷土の歴史、文化及び現在も遺る多様な文化遺産を次世代へ継承することにより、町民の郷土愛を育み、町の魅力として誇りを持つことができるようなまちづくりを推進していかなければならない。	
令和６年度の目標又は改善策	各保育園及び各地域自治組織との連携、町内の小学校6年生及び中学校2年生を対象とした「松江開府の祖　堀尾吉晴公」をはじめ、他学年においても郷土「おおぐち」をテーマとした授業を実施。機会があれば様々な団体と連携し、幅広く展開する。 また、小中学校の郷土学習での講話や資料提供等、可能な支援を提案し、重点的に連携を推進する。	

■第７次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第４章	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する					
	基本政策	第１節	生涯学習の推進					
成果指標	出前講座・授業開催数							
	H26実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6目標値	R7目標値
	20件	44件	30件	36件	39件	42件	60件	65件

■３年間の目標

目標					
項　目（単位）	R4実績	R5目標	R6目標	R7目標	R8目標

■２年後、３年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
Ｒ７年度	前年度までの実績を振り返り、発達段階に応じた学習プログラムの検討及び実践
Ｒ８年度	実践した学習プログラムを振り返り、改善策を検討して実践

■作業工程（当該年度）

月	作　業　内　容
	北、西、南保育園連携事業「郷土を愛する心を育む活動」（年間3園合計で14回程度） 小学生を対象とした児童の発達段階に合わせた郷土学習（各学年で実施） 小学校6年生郷土学習「郷土の偉人　堀尾吉晴公」（11月以降実施） 中学校2年生郷土学習「郷土の偉人　堀尾吉晴公」（12月以降実施） 中地域自治組織歴史民俗部会にアドバイザーとして参加 南地域自治組織「南地域の歴史や文化遺産を次世代につなぐ事業」 「おおぐち歴史ガイド」との連携事業 その他、まちづくり団体等、町内の様々な団体とともに連携し事業を展開

■目標又は改善策に対する取組内容

■評価